

2019年12月27日 上演⑯

第72回中部日本高等学校演劇大会

速報 立山17号

富山東高校

ひやま けいこ 作

「机上の空」

○あらすじ

みそらはある日、お母さんとお父さんと一緒に学習机を買いに行く。そこでみそらは森のにおいがする机を見つけ、買ってもらい、それに大きく『ミソラ』と書いた。

優しいお母さんに、赤い傘、大好きな先生、その先生からもらった万年筆、力持ちなおばあちゃん、そして森のにおいがする机。

これは、みそらとミソラの物語。

○客席インタビュー

- ・役の切り替えが上手い。
- ・歌唱力の高さに驚いた。
- 少ない人数にもかかわらず、クオリティーが高かった。
- ・おばあちゃんという固定観念にとらわれすぎている気がした。



○幕間討論

《演出意図》

- 人間誰しも一人だと思うことがある。だけどミソラのように何かが心の支えになってくれる。

《質問》

- Q. 津波の後のシーンの色がオレンジだった理由。
- A. 津波で全部流されて無くなった感じを出すため。
- Q. 歌っていた曲はオリジナルのモノなのか（2曲とも）。
- A. 1曲目は大正時代くらいの歌。
2曲目は小学4年生の教科書の歌。
- Q. 津波のシーンで幕を上げた理由。
- A. ミソラが何処に流されたかを分からぬ感じにするため。
- Q. 一人で四人の役を演じるコツは。
- A. 気持ちをすっぱりと切り替える。
- Q. スケッチブックの絵は誰が描いたのか。
- A. 自分で描いた。
- Q. 動きは気持ちでどうにかなるのか？気持ちを切り替えるコツは？
- A. やっぱり気持ち！切り替わる前に大げさな動作をする。
- Q. 音響を一切使わなかった理由。
- A. 人数が足りなかつた…。ミソラと机がメインの話だからひとりぼっちであることを表すため。

